

Rational software

IBM Rational Functional Tester

ハイライト

- **Java、Web、SAP、Siebel、および Microsoft Visual Studio .NET Windows Forms**ベースのアプリケーションのための堅牢なテスト・サポートを提供
- テスト・スクリプトのカスタマイズ、編集、およびデバッグに使用するスクリプト言語を、**Java と Microsoft Visual Basic .NET** から選択可能
- 複数の検証ポイントおよび、正規表現パターン・マッチングのサポートで、動的データの検証を支援
- **IBM ScriptAssure** テクノロジーによって（元のアプリケーションが変更されても再生ができる）、再作業の必要性を減少、スクリプト再記録の作業を最小化、スクリプト保守の必要性を低減
- バージョン管理サポートによって、地理的に分散した開発チームによるテスト・スクリプトの並行開発および並行使用が可能になり、生産性が向上

IBM Rational® Functional Tester は、機能テストおよび回帰テストの自動化するソフトウェアです。Java™、Web、SAP、Siebel、および Microsoft® Visual Studio .NET Windows® Formsベースのユーザー・インターフェース (UI) テクノロジーに対する深い理解に基づいて設計されています。そのため、複数のカスタマイズ・オプションを備えた堅牢なユーザー・アクション記録機能と、優れたスクリプト保守機能を組み合わせること、アプリケーションに変更が加えられた場合でも柔軟にテストを作成および実行できるようにします。

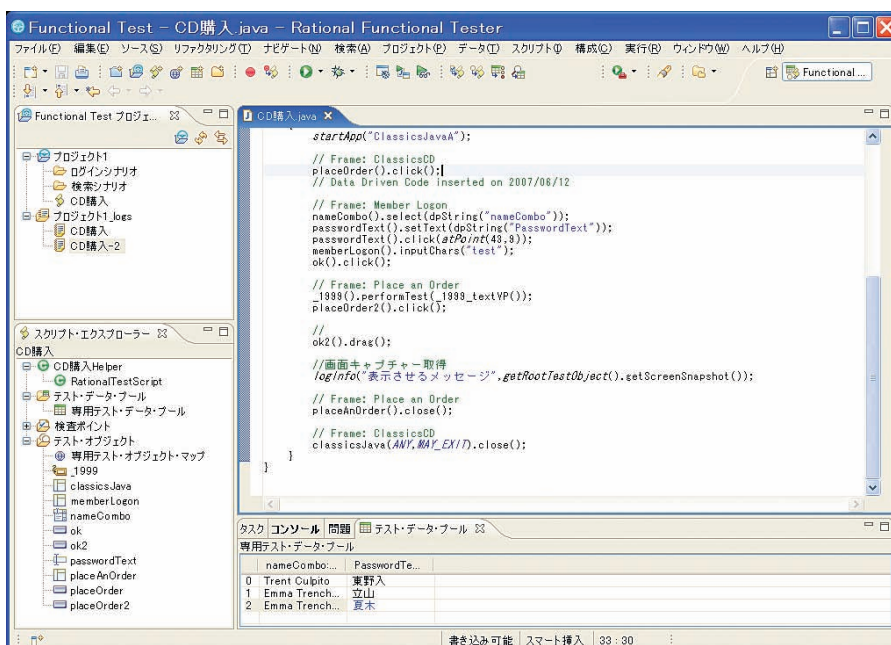
Rational Functional Testerは、テスト担当者、GUI 開発者など、ソフトウェア開発の責務を負ったプロジェクト・チーム・メンバーすべてに向けた製品です。初心者レベルの開発者でも上級者でも同じように使用できます。

機能テストは純粋な手作業による方法で行

うことも可能ですが、自動化することで多大なメリットをもたらします。

- テスト担当者のリソースを拘束することなく、回帰テスト(アプリケーションの更新時の機能確認)を実行できる。
- QA(品質保証)部門は基本機能の検証を自動化することにより、毎回同じ操作の繰り返しから解放され、追加機能のテストに集中することで、テストの網羅性を向上できる。
- テスト用のマシンの準備やデータベースの構成など、テスト以外のWebブラウザなどの操作も自動化できる。
- テスト手順の実行やテスト結果の記録などの手作業で起こりやすい人的エラーが削減できる。

ビジネス・ニーズやお客様の要求に応えるために自社でアプリケーション開発を行っている場合、アプリケーションの品質の重要性については広く認識されています。しかし、実際にプロジェクトで、期待されたおりの品質、または期待を上回る品質のアプリケーションを開発するためには、プロジェクトの作業に一定のルールと効率化への取り組みを実現することは困難です。一般的に、QA 部門が行なう機能テストは、機能性、操作性、外観、その他多くのカテゴリーにおける要件が、アプリケーションに適切に実装されているかどうかを検証することを主題としています。



IBM Rational Functional Testerによるアプリケーションのテスト

機能テストのコストを軽減

開発チームが、プロジェクト全体を通じてテスト・スクリプトを最新の状態に維持するために膨大な手作業が必要となれば、テストの自動化による利点はすぐに損なわれてしまいます。Rational Functional Testerは IBM ScriptAssure™ の先進テクノロジーを採用しているため、UI コントロールの特性を学習することができます。そのため、基本スクリプトが変更された場合でも、新しいビルドにおいて同一のコントロールとして識別できます。これらのコントロール特性はオブジェクト・マップに保存され、複数のスクリプトおよびプロジェクトで共有できます。このオブジェクト・マップによって、オブジェクト認識特性への変更がすべてのテスト・スクリプトに反映され、スクリプトの保守作業を単純化できます。さらに、Rational Functional Testerに新しく搭載された高度なオブジェクト・マップ検索機能およびフィルター機能によって、保守作業はさらに容易になりました。

正規表現のサポートにより、テスト・コードに挿入された検証ポイントを実際のデータと期待データとの比較に使用が可能になります。これにより、毎回変化する注文番号、時間、日付などの動的コンテンツの検証が可能になります。この機能によって、テスト対象アプリケーション内の変更を反映させるためのテスト保守作業の必要性がさらに低減します。

制限なくカスタマイズが可能

開発チームにとって、テスト・スクリプトの編集や拡張は避けられない作業です。自動テスト・ツールの利点を最大限に活かすためには、シンプルなループ構文の作成から高度なファイル操作、またはオペレーティング・システムの対話型操作まで、あらゆる作業が必要となり得ます。このようなニーズに対し、Rational Functional Testerは、従来に無い選択肢をユーザーに提供します。つまり、テスト・エディターやデバッガーで使用される言語として、業界で主流となっている強力な言語を選択できるのです。

Rational Functional Testerでは、テスト・スクリプト全部を Eclipse Java Developer Toolkit のエディターにより Java コードを使用して作成するか、あるいは Microsoft Visual Studio .NET のエディターにより Microsoft Visual Basic .NET コードを使用して作成することができます。これらのプログラミング言語に精通している方なら、既存のコードをすぐに修正するとともに、他のテスト・スクリプトから呼び出せるカスタム・ライブラリーを作成することもできます。Eclipse エディターおよび Visual Studio .NET エディターは、いずれも自動コード・コンプリーション機能や高度なデバッグ・オプションなどの優れた編集機能を備えているため、コーディング作業は大幅に簡素化され

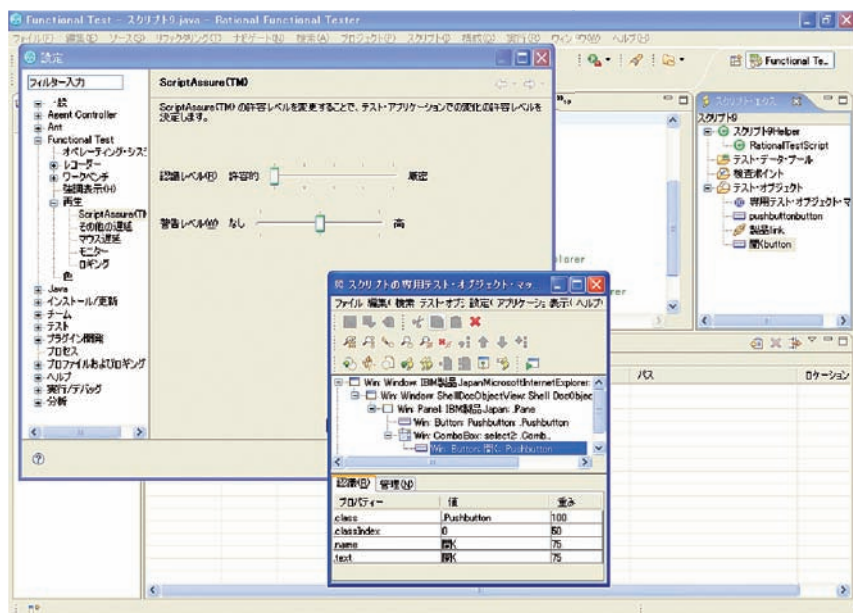
ます。カスタマイズも制限なく行うことができ、テスト・スクリプトと開発とのコミュニケーションを大きく簡素化できます。実際、GUI 開発者や他の開発チーム・メンバーは、自分たちが作業している Eclipse または Visual Studio.NET ベースの統合開発環境 (IDE) から Rational Functional Tester にアクセスして、独自のテストを作成することができます。

開発チームの多様なニーズをサポート

Rational Functional Tester の高度なスクリプト作成機能を利用するにつれて、複数バージョンのテスト・スクリプトを保存することが重要となってきます。これに加えて、地理的に分散したテスト・チームのサポートや、複数サイトでの並行開発を行う必要性など、様々な要求が明らかになってきます。Rational Functional Tester は並行開発における使用もサポートしているため、テスト・スクリプトのバージョン管理も可能です。同一ロケーションで作業するチームは、Rational Functional Tester のライセンスで IBM Rational ClearCase® LT 製品を利用できます。また、地理的に分散しているチームとの共同作業には、IBM Rational ClearCase ソリューションにアップグレードすることが可能になります。

オープン・スタンダード・ベースのテクノロジー

Rational Functional Tester の Java スクリプト作成機能は、Eclipse アーキテクチャー・フレームワーク、およびその Eclipse Test and Performance Tools Platform (TPTP) と呼ばれるテスト、トレース、モニタリングのための拡張機能の上に構築されています。Eclipse および TPTP は、いずれもオープン・ソースのプロジェクトであり、アプリケーションの開発、テスト、デプロイ、およびモニタリングのための複数のツール環境で共有可能なオープン・ソースのサービスを提供しています。このインフラストラクチャーにより、ベンダー固有のデータ・ストア・フォーマットの排除、自社およびサード・パーティーによるカスタマイズやコミュニティへの貢献のサポートなど、さまざまな利点が得られます。



ScriptAssure とオブジェクトマップで柔軟なテストが可能

Eclipse および TPTP ベースのツールへの投資は、単一ベンダーの制約に縛られることを避けるとともに、将来のイノベーション推進にもつながります。

IBM Rational Software Delivery Platform の不可欠なコンポーネント

IBM Rational Functional Testerは、ソフトウェア・システムの構築およびアプリケーション・ライフサイクルの管理を目的とした、業界で最も完全かつ強力なソリューションである IBM Rational Software Delivery Platform に不可欠のコンポーネントです。このプラットフォームによって、ソフトウェア開発の多くの側面を自動化することが可能になります。また、チーム・メンバー間および使用ツール間において効率よく情報共有が可能になり、チーム・メンバーの一体化が実現します。

Rational Software Delivery Platform への統合は、アプリケーション要件などのさまざまなソフトウェア開発ライフサイクル資産にアクセスできるよう設計されており、開発チーム全体でユーザー経験を共有できるようになっています。機能テストの観点からはこの統合により、開発者およびテスト担当者が、Rational Software Delivery Platform のそのほかのツールでアプリケーションの構築、テスト、デプロイ、モニタリングする際に使用するツールと同一のユーザー・インターフェースで、機能テストを構築、共有、分析できることを可能とします。

IBM Rational ソフトウェアについて

IBM Rational 品質管理ソリューションは、パフォーマンス・テスト、機能テスト、および回帰テスト、手動テスト、開発者テスト、およびテスト管理など、テスト担当者をサポートする最新のソフトウェアを提供します。Rational ソリューションを使用すれば、QA チームはアプリケーションの機能性、操作性、信頼性、スケーラビリティ、およびパフォーマンスに関する問題を容易に管理し、これらに対処できるようになります。幅広い環境をサポートする、総合的な自己管理型プラットフォーム

上に構築された Rational 品質管理ツールによって、デリバリー・ライフサイクル全体にわたり、分散したテスト資産と情報をより緊密に結合させることができます。アプリケーション・ライフサイクルに対する Rational の反復的な品質管理アプローチによって、テスト担当者はより高品質のコードを作成し、生産性を向上させ、短い納期に間に合わせるすることができます。

参考情報

IBM Rational Functional Testerの詳細は、次のサイトを参照してください。

ibm.com/jp/software/rational/products/test/rft/



お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤルIBM (0120-04-1992)へ。受付時間: 月～金 9:00～18:00 (祝日12/30～1/3を除く)携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合通話料金はお客様のご負担となります。)

Copyright IBM Japan, Ltd. 2007
日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12
Produced in Japan
August 2007
All Rights Reserved

このカタログの情報は2007年8月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。表示画面および印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

ClearCase, developerWorks, IBM, IBM ロゴ, Rational, ScriptAssure は、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。